

国際理解や国際貢献等の視点に立った取組

竹原市立竹原小学校

1 取組の概要

本校では、各教科・道徳等の内容と関連付けながら、児童の発達の段階に応じた平和教育を実施することで、児童に「自他を尊重し合い、平和の大切さを考え、進んで平和の実現に貢献しようとする態度や能力の基礎を育成する」ことを目指している。

具体的には、第4学年で戦争や被爆の実相に触れる取組として平和記念公園への社会見学を行い、第6学年では、主に社会科の単元に平和教育を位置付けている。また、平和を大切にする態度を国際連合の働きや国際交流の観点からつかませるため、実際に日本青年会議所で活動している方をゲストティチャーとして招き、実践的な学習へとつなげている。

また、他の教科では、次のような取組を行っている。

国語科では、全学年で教科書の読書単元等で国際理解や戦争・平和について学習する。毎月1回の読み語りボランティアの方にも、国際理解や戦争や平和に関連した絵本を年間1回程度選定してもらっている。道徳においては、学年により内容項目のねらいとする価値をふまえつつ、関連内容として国際理解や戦争、平和について触れている資料を取り上げている。

2 本実践事例について

(1) 本事例実施の背景・これまでの取組

本校の児童は、第4学年で戦争や被爆の実相にふれる取組として、平和記念公園の原爆ドームなどの遺跡や記念碑及び広島平和記念資料館の見学を行っている。事前に見学資料を作成し、原爆投下の事実や平和の大切さについて考えさせ、各記念碑建立に対する思いを知らせながらフィールドワークを行い、事後は一人一人の思い・願い・今後の意欲などについて話し合わせている。

また、国語科では、平和に関連した教科書の教材を読み、その生き方を通して戦争や原爆・平和について考えさせている。

社会科の単元では戦争や被爆の実相に触れることにとどまらず、国際連合の目的やはたらき、スポーツや文化を通じた国際交流や日本の国際協力について取り上げ、国際交流の意義や国際貢献における日本の果たす役割を考えさせている。

加えて、日本青年会議所の職員から国際貢献に関する体験談を聞かせることにより、地球規模の課題をつかませ、自分たちの生活と発展途上国の子供たちの様子の違いから問題意識をもたせている。さらに、年間の平和学習のまとめとして、今後の自分たちにできることは何かを考えさせている。

(2) 指導のポイント

- ☆ 社会科学習指導要領に示されている目標や内容を踏まえ、社会科の学習と関連付けて学ぶことができるよう、指導計画を作成する。
- ☆ 平和を大切にする態度を国際連合の働きや国際交流の観点からつかませることができるようするため、実際に活動している方をゲストティチャーとして招き、実践的な学習へとつなげる。(付けさせたい力2)

3 本事例の指導計画

(1) ねらい

国際貢献に関する体験談を聞かせたり、国際連合の働きや世界の中の日本人の役割について理解させたりすることを通して、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。

(2) 対象学年 第6学年

	主な学習活動	
第一次 11月下旬	ユニセフについて 1 国連児童基金（ユニセフ）の募金活動を想起する。 2 ユニセフの活動を調べる。	
第二次 11月下旬	日本青年会議所の職員の体験談 1 発展途上国の現状を知る。 2 ある一家の日常をつかむ。 3 日本の生活との違いについて考える。 4 自分にできることを考える。	
第三次 3月上旬	国際連合の目的 1 国際連合について知っていることを話し合う。 2 国際連合について調べる。 3 国際連合がつくられたわけを考える。 4 ユニセフ以外の国際連合の働きを予想する。	
第四次 3月上旬	世界の平和を保つ国際連合のはたらき 1 国際連合が世界平和のためにどのようなことをしているか予想する。 2 国際連合が世界平和のためにどのような取組をしているのか調べる。 3 国際連合の役割について考える。 4 みんなが平和で人間らしく暮らせるようにするにはどうしたらよいか考える。	
第五次 3月中旬	地球環境問題と国際連合のはたらき 1 地球上で起きている環境問題について話し合う。 2 環境問題に対する国際連合の取組について調べる。 3 環境問題に取組む中で大切なことは何か考える。	
第六次 3月中旬	スポーツや文化を通じた国際交流 1 スポーツや文化における世界の国々との交流について話し合う。 2 スポーツや文化の国際交流について調べる。 3 国際交流の意義や国旗・国歌について話し合う。	
第七次 3月下旬	日本の国際協力について 1 青年海外協力隊の活動を知る。 2 日本がどのような国際協力をしているのか調べる。 3 国際社会における日本の役割について考える。	
第八次 3月下旬	地球市民としてできること 1 日本が国際社会で果たすべき役割について話し合う。 2 「平和への誓い」を読んで話し合う。 3 自分たちにできることは何かを考える。	

4 児童の反応（授業後の感想）

- アフリカにはきびしい生活をしている人がいることは知っていたけれど、まさかここまできびしいものだとは思いませんでした。地球から「戦争」という文字が消え、世界中の人が仲良くなるような世界にしたいです。
- 苦しみを知ったぼくたちがいつか（貧困を）解消したいです。募金活動をしたり今日聞いたことをみんなに伝えたりします。
- 大人になった時に、平和で、どの国でも戦争が起こらず尊敬し合える世界になってほしいです。自分ができることをできる限りやりたいです。何より「平和」を願っています。